

第2学年花組 学級活動指導案

指導者 荒井 優(教生)

1 日時 令和5年9月21日(木) 9:40~10:20

於/自教室

2 議題 2花にじいろチャレンジ~2花スペシャルパーティーをしよう~

3 議題選定の理由

○ 本学級の子どもたちは、互いのよさを認め合い、自分の思いを素直に生き生きと表現しながら学校生活を送っている。係活動では、自分たちで活動内容を決定し、「こうしたい」という思いの下、休み時間などを利用して友達と協力しながら係の仕事に積極的に取り組んでいる様子が見られる。

夏休みが終わり、子どもたちは自分たちで決めた目標や決まりを意識しながら生活をしている。また、児童会の生活目標「協力して、はじめをつけよう」の実現に向け、「人の話を聞くと、きゅうしょくのはきは、『お口、ロック』』という学級行動目標を立て、互いに声を掛け合いながら生活しようとしている。学級の一員として、「2花を『よりよく』していきたい」という思いを持って行動する子どもがいる一方で、学級の全員で取り組もうと決めたことに対して、自分事として捉えきれていない子どももいる。

○ 本議題は、1カ月間共に学んだ実習生のために、感謝の気持ちを伝えながら特別な思い出をつくるためのパーティーを開くことを目指すものである。本学級の子どもたちは、1学期に「1花2花パーティー」を開いており、その経験から誰かのために計画、実践することの難しさを実感している。一方で、人のために活動することで、相手が喜びを感じ、その喜びあふれる笑顔が自分たちの充実感にもつながっていることを体感している。自分たちのために行うことと、誰かのために行うことの違いは、「相手がどう感じるか」を想像することにある。その想像を十分に膨らませ、活動を計画していくことは、相手の気持ちや立場を考える力を高めるとともに、気持ちを込めて物事に取り組もうとする態度を養うことができると考える。

今回の実践は、実習生のために行うパーティーである。どの子どもたちにとっても、限られた期間の中で共に過ごしてきた実習生の存在というものは非常に大きい。実習の終わりが見え始め、子どもたちは、実習生への思いを強くしていることは言うまでもない。しかし、一様に感謝の気持ちを持っているかと言えば必ずしもそうではないだろう。そこに、学級集団として実践することの意義がある。感謝の気持ちをどう伝えるのかをしっかりと考え、話し合っ合意形成することによって、子どもたち一人一人が自分事として、2花としての「ありがとうの形」を表現することができる。また、実践に際しては、自己のよさを生かし協働することで、会の目的を達成することはもちろん、より深く人間関係を形成し、自己実現を果たしていくことができると考える。短い期間の中でつくってきた思い出を生かしてパーティーを計画、実践していくことは、今後の子どもたちのよりよいキャリア形成にもつながると考え、本議題を選定した。

○ 本時は学級会を行い、スペシャルパーティーで「何を、どのようなくふうですか」について話し合っ合意形成する。学級会は子どもたちに司会・進行役をさせ、実習生と自分たちのためのパーティーについて主体的に考えさせていきたい。目的に沿った内容になるよう、事前に話し合っ合意形成した提案理由を意識しながら話し合いに参加するよう喚起したい。教師は話し合いの中でファシリテーターとして、話し合うことの確認をしたり話し合いの軌道修正を行ったりと、終始話し合いの調整役として見守っていききたい。全体の流れと、個人の思考の両方を把握し助言を行うことで、少数意見が尊重され全員が納得のいく合意形成が行われることを目指す。

4 活動の評価の視点

- スペシャルパーティーの開催を自分事として捉え、よりよいパーティーにするにはどうしたらいいのかについて、自分なりに考え実践することができているか。
- 友達の意見をしっかりと受け止め、全員が納得する形で決定できることを目指して話し合いに参加しているか。

5 本時の指導

(1) 目標

2花スペシャルパーティーで「何を、どのようなくふうですか」について、提案理由をもとに考え話し合うことができるようにする。

(2) 準備

板書用カード、掲示用ボード、パワーポイントのスライド

(3) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	○指導上の留意点●評価
<p>1 話し合うことを確認する。</p> <p>2 パーティーで何をするかについて意見を出す。</p> <p>3 目的を基に、具体的に何をどのような工夫でするのか話し合う。</p> <p>4 話し合いで決まったことを振り返る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2花スペシャルパーティーで何をする？</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おにごっこ ・フルーツバスケット </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙をわたす ・にがお絵をかく ・ハンカチおとし </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">何を、どのようなくふうですか？</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おにがどんだんかわるようにならうんどう場の半分だけつけてやろう。 ・みんなぜんいんがあたるようなルールをふやすのはどうかな？ ・ルールをふやすとむずかしくなるんじゃない？ ・ルールをまとめた紙をくばっておけばいいよ。 </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がじっしゅう生にありがとうのお手紙をわたすと思うよ。 ・ハンカチをおとされたら何か言うのはどうかな？ ・手紙ならみんなでするひつようはないんじゃないかな？ ・ハンカチをおとされたら、じっしゅう生の先生との一番の思い出を言うのはどう？ </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">やくわり分たんも考えないとな。パーティーをせいこうさせたいな。一生けんめいじゅんびをしよう。</div>	<p>○ 話し合うことを常に確認できるようにするために、パワーポイントのスライドを用いて議題、提案理由、決まっていることを提示する。</p> <p>○ 安易な多数決が行われないようにするために、それぞれの思いが話し合いに反映されているか助言する。</p> <p>○ 提案理由に沿った話し合いを行うことができるようにするために、賛成・心配意見の内容を見詰めつつ、適宜全体に対して問いかけを行う。</p> <p>● 「何を、どのようなくふうですか」について、パーティーの目的を基に話し合うことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(発言・様態)</p> <p>○ パーティー開催に向けた前向きな気持ちを引き出すため、期待感が高まるような声掛けを行う。</p>